

Builder

BioPlus西條デザイン

Data

札幌市A邸
 家族構成／夫婦 + 子供2人
 工法／木造在来工法
 標準工期／約120日
 プラン／フリープラン

Photographs

写真／GINO PHOTO WORKS



木酢液に浸けこんだ道産カラ松をふんだんに使用した外観。

Data

敷地面積／165.46㎡ (50.05坪)
 延床面積／94.90㎡ (28.71坪)
 1階面積／56.39㎡ (17.06坪)
 2階面積／38.51㎡ (11.65坪)
 竣工年月／2012年11月
 基礎／布基礎、モルタル櫛引仕上げ
 外装材／カラ松木酢液含浸材縦張り
 内装材／ホタテ漆喰+旭川土壁+和紙クロス
 床材／カバフローリング+江別レンガタイル
 開口部／木製玄関ドア+木製サッシ (一部樹脂サッシ)
 暖房／蓄熱暖房機
 キッチン／オリジナル木製キッチン
 バスルーム／ハーフユニットバス、天井壁ヒバ羽目板張り
 その他／木製無垢室内戸

「BioPlus西條デザイン」の住宅見学会に何度か足を運んでいたAさん。地球環境に負担をかけないコンセプトに賛同して住まい作りのパートナーとして選んだ。テーマは子供たちが安全にのびのびとすごせる自然素材の家。プランニングは大きなLDKを中心としたシンプルなものとした。その代わりに来客の目に付きづらい階段室吹抜けに昇降式の物干しを設けるなど住まい手への細かな配慮がなされている。木材は北海道産の無垢材にこだわり、構造材や仕上げのフローリングはもちろんのこと、目には見えない下地材にも集成材、合板類を一切使用していない。まだ小さな子供たちが化学物質に囲まれて成長するリスクの軽減が狙いである。

和室は旭川で採れた土を壁に塗っている。押入れの下は掘り炬燵。

無垢の木材の架構がそのままあらわされている。



白い木製キッチンはオーダーメイド。



フローリングにはカバ材を使用した。



寝室の窓からは洗濯物干しができるようになっている。

ベンガラで調色した漆喰はオーナーと仲間たちの手によって塗られた。

壁の漆喰は噴火湾産のホタテの貝殻を骨材に天然糊を混ぜたものを選んだ。自分の部屋を好きな色にしたいという子供たちの要望から漆喰にベンガラを混ぜて調色し、オーナー一家が仲間たちと一緒に自ら施工した。小さな子供たちも一緒になって参加できたのも自然素材の家ならではの醍醐味。その他にも外壁は下川町産の木酢液に漬け込んだカラ松の板材を使用し、玄関ポーチには江別のレンガタイルを敷き詰めた。畳コーナーの壁は最近では殆ど見られない文字通りの「土壁」で旭川近郊で採れた土を原料としている。近隣地域特産物の恩恵がそのまま形になったような、まさに「北海道の自然素材の家」になっている。

有限会社 BioPlus西條デザイン

本社：〒002-8081
 札幌市北区百合が原4丁目8-1
 Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581
 伊達支店：〒052-0014
 伊達市舟岡町50-28
 Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139
 www.saijo-d.com

©「ECOさんが帰る場所」連載中(P46~P47)